

# 万一のとき

# 6

●発炎筒の使いかた	210
●路上で故障したときは	211
●けん引するときは	212
他車にけん引してもらうとき	212
後ろ側のフックについて	214
●オーバーヒートしたときは	215
●バッテリーがあがったときは	216
●ヒューズを点検・交換するときは	218
●電球（バルブ）を交換するときは	220
●工具・ジャッキ・スペアタイヤについて	227
格納場所	227
スペアタイヤについて	229
ジャッキアップのしかた	230
●パンクしたときは	234
タイヤ交換のしかた	234
タイヤ応急修理のしかた	238
●事故がおきたときは	243

目次

△警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の  
使いかた車との上手な  
つきあいかた

万一のとき

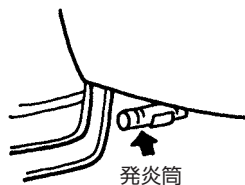
サービスデータ

さくいん

## 発炎筒の使いかた

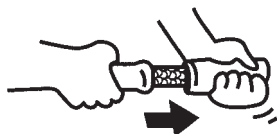
故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

- ①助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



TCA0157Z

- ②本体を回しながらケースから引き抜きます。



TCA0158Z

- ③点火部をケースのすり薬でこすって点火します。



TCA0159Z

### 警告

- お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

### 知識

- 点火後は約5分間燃え続けます。
- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

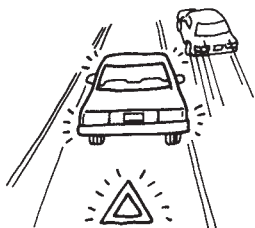
# 路上で故障したときは

必ず安全な場所に車を退避させ、非常点滅表示灯などで後続車に危険を知らせてください。

安全な場所に退避できないときは、発炎筒（OP.210）で後続車に危険を知らせてください。

## ■路上で故障したとき

- ①車を路肩などに止め、非常点滅表示灯を点滅させます。
- ②高速道路や自動車専用道路では、車の後方に停止表示板又は停止表示灯を置きます。

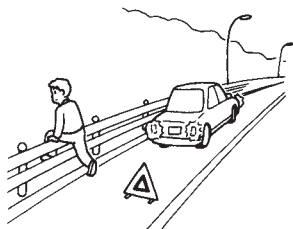


TCA0160Z

### 知識

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。

- ③全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。

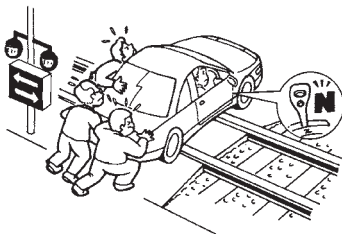


TCA0161Z

- ④安全を確保後、救援を頼みます。

## ■エンストしたとき

- ①あわてずエンジンをかけ直してみます。
- ②エンジンがかからないときは、付近の人に救援を求めて、車を押ししてもらい、安全な場所に移動してください。このときオートマチック車はセレクトレバーをNに、マニュアル車はシフトレバーをNにしてください。



ZCE0209

- ③安全な場所に移動後、救援を頼みます。

## ⚠ 注意

- エンジンが止まると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が動かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。

## ■踏み切りで出られないとき

- ①ただちに踏み切りの非常ボタンを押してください。
- ②発炎筒で一刻も早く列車に知らせてください。



TSC1043Z

## けん引するときは

車が動かなかったり、異常な音がするときには、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。

けん引が必要なときは、できるだけ日産販売会社、又は専門業者に依頼してください。

🔍JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

### 他車にけん引してもらうとき

#### 警告

- 電源ポジションがLOCKでバッテリーがあがると、ステアリングロックの解除ができなくなるため、このままの状態ではけん引しないでください。けん引するときは救援車のバッテリーとつなぎ、電源ポジションをAcc又はONにしてハンドル操作ができる状態で行ってください。また、けん引中は電源ポジションをLOCKにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

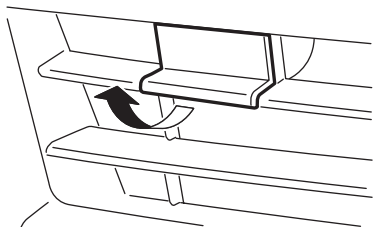
#### 注意

- エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。
- 長い下り坂では、ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
- 前輪を上げてけん引するときは、電源ポジションをONにしないでください。VDCが作動しブレーキがかかることがあります。

#### アドバイス

- けん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離30km以内に行ってください。高速走行や長距離走行をすると、トランスミッションが破損することがあります。できるだけレッカー車、又はトレーラーを依頼してください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。

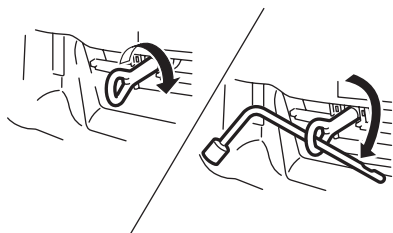
- ①カバーを下側のロックを外しながら引いて取り外します。



ZCE0210

- ②フロントバンパー部の穴に、ホイールナットレンチを用いてけん引フックを確実に取り付けます。

●工具…P.227



ZCE0211

- ③自車及び他車のけん引フックにロープを掛けます。

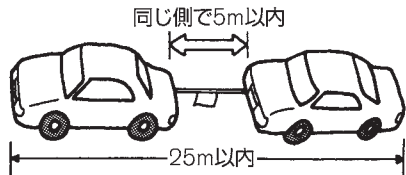
### 注意

- 指定以外のフックは絶対に使わないでください。フック部が破損するおそれがあります。

### アドバイス

- ロープを掛けるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。

- ④ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を必ず取り付けます。



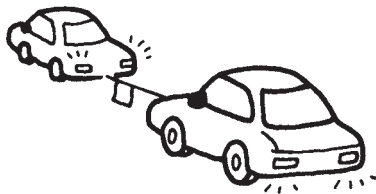
TCA0242Z

- ⑤エンジンをかけられるときはエンジンをかけ、オートマチック車はセレクトレバーをNに、マニュアル車はシフトレバーをNにします。



ZCE0341

- ⑥パーキングブレーキを解除します。  
⑦けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。



TCC0071Z

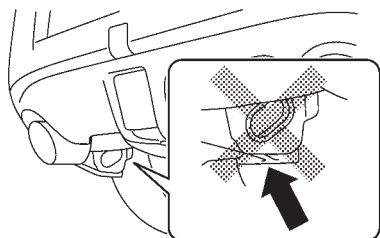
- 使い終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

## 後ろ側のフックについて

後ろ側のフックは船舶輸送時の固定専用です。

けん引やトレーラー輸送時などの固定には絶対に使わないでください。

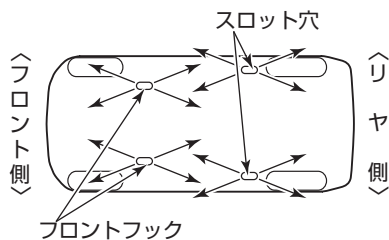
この車で他車をけん引することはできません。



ZCE0212

## 🚗 アドバイス

- トレーラーなどで輸送するときは、車両下側のフロントフックとスロット穴を使い固定してください。
- リヤ側を内側に引く場合は、燃料タンクに干渉するおそれがありますので注意してください。



ZCE0213

# オーバーヒートしたときは

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温計がオーバーヒートの範囲（○P.93）を示したとき。
- エンジンルームのすき間から蒸気が出ているとき。

## 警告

- エンジンルーム内は高温になっているため、エンジンフードを開けるときは十分に注意してください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバタンクのキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

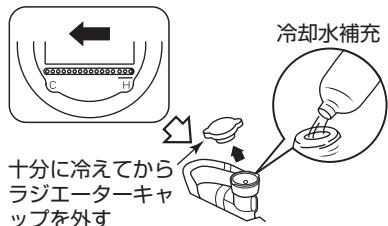
## 処置のしかた

- ①ただちに安全な場所に停車します。
- ②エンジンをかけたままエンジンフードを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。  
万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを止め、自然冷却してください。

## 警告

- 蒸気が出ているときは、エンジンフードを開けないでください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。  
エンジンを止め蒸気が出なくなるまで待ち、エンジンフードを開けてください。

- ③水温計がオーバーヒートの範囲より下がったら、エンジンを止めしばらく待ちます。  
エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。



ZCE0214

- ④冷却水が不足しているときは、ラジエーターとリザーバタンク（○P.249）に冷却水（○P.247）を補充してください。  
・補充後は、しっかりキャップを閉めてください。

## アドバイス

- 応急的に水だけを補充したときは、できるだけ早くエンジンクーラントを交換してください。

- ⑤走行中、再度水温計がオーバーヒートの範囲を示したときは、①～④の作業を繰り返して行ってください。
- ⑥早めに日産販売会社で点検を受けてください。

# バッテリーがあがったときは

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからないとき。
- ライトがいつもより極端に暗いとき。
- ホーンの音が小さい、又は鳴らないとき。

## ■ 処置のしかた

12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつなぎ始動してください。

- ① 電源ポジションをOFF又はLOCKにします。
- ② バッテリーカバーは、ノブをつまんで外します。（P.249）
- ③ ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

### 1本目

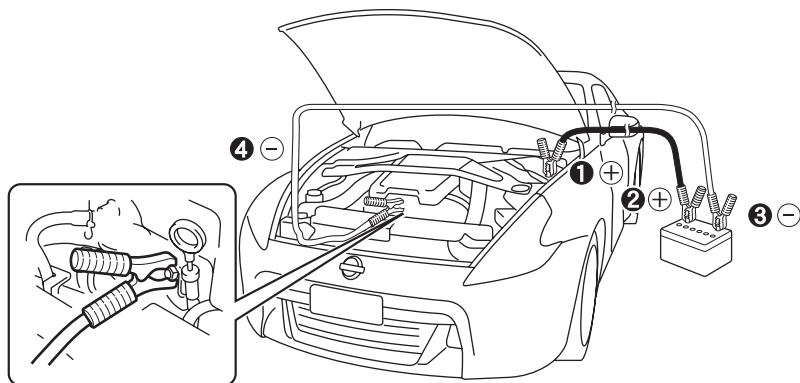
- ① 自車（あがった）バッテリーの⊕端子
- ② 救援車（正常な）バッテリーの⊕端子

### 2本目

- ③ 救援車（正常な）バッテリーの⊖端子
- ④ 自車のエンジン本体（バッテリーから離れたボルトなど）

## ⚠ 警告

- ブースターケーブルをつなぐときは、以下のことを必ず守ってください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
  - ・ ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
  - ・ ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。



- ④ 救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。
- ⑤ 自車のエンジンをかけます。
  - ・ エンジンをかけるときは、ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。
  - ・ エンジンが始動しても、しばらくエアコンやオーディオを使わないでください。

 **アドバイス**

- エンジンが始動できない場合には、一旦電源ポジションをOFFにして、10秒以上待ってから再始動してください。

- ⑥ ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。
- ⑦ バッテリーカバーを取り付けます。
- ⑧ 早めに日産販売会社で点検を受けてください。

 **警告**

- バッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受けてください。

 **注意**

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意してください。
- ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。
- ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

 **アドバイス**

- 押しがけでの始動はできません。
- バッテリーはお客さまの車に適合した日産純正部品をおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
- バッテリーがあがるとステアリングロックの解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。
- ドアの開閉に合わせて自動的に窓ガラスが下降、上昇する機構が付いているため、バッテリーがあがるとドアを開めるときに窓ガラスと車体が干渉するおそれがあります。その場合には、窓ガラスを内側に倒すように力を加えながらゆっくりと閉め、窓ガラスと車体が当たらないように注意してください。

# ヒューズを点検・交換するときは

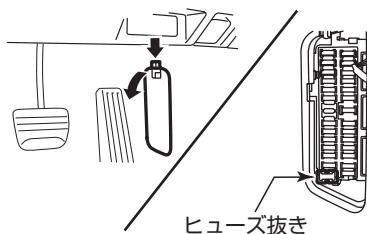
ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。

故障の状況から、関係するヒューズの位置を確認してください。

## ■ヒューズボックスの位置

ヒューズボックスは運転席足元とエンジンルームにあります。

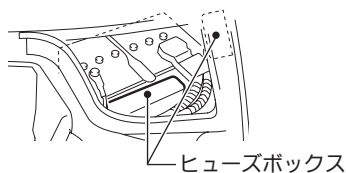
### 運転席足元



ZCE0217

### エンジンルーム

バッテリーの前側と右側にあります。



ESG0406Z

### 知識

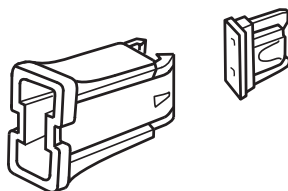
- エンジンルーム内のヒューズボックスは、バッテリーカバーの下にあります。  
 ○ バッテリーカバーの外しかた…P.249
- バッテリー右側のヒューズボックスは、カウルトップカバーを外さなければなりません。ヒューズを交換したいときは、日産販売会社にご相談ください。

## ■ヒューズの位置

- ヒューズボックスのふたに表示してあります。
- 車種により、付いていないヒューズがあります。

## ■ヒューズの交換のしかた

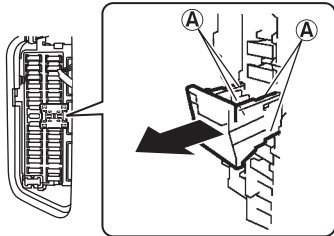
- ① 電源ポジションをOFF又はLOCKにします。
- ② ヒューズボックスのふたを開けます。
- ③ ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。



TCG0005Z

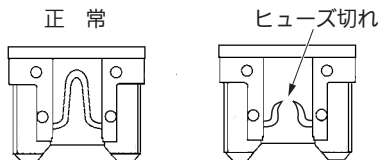
### 🚗 アドバイス

- 下記のイラストのような部品が付いている場合は、その部品の中にもヒューズがあります。中のヒューズを点検・交換するときは、④を上下につまみながら矢印の方向に引き抜いてください。



ZCE0564

- ④ヒューズが切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。



TCE0058Z

### ⚠️ 警告

- 規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

### 🚗 アドバイス

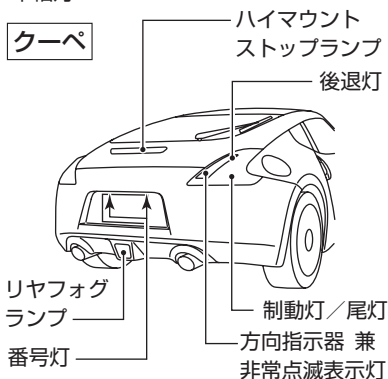
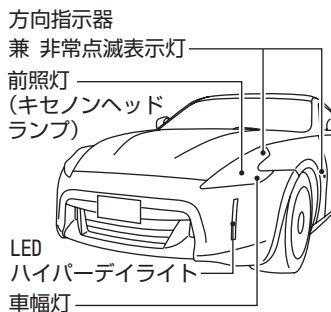
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズ抜きは、ヒューズに対して垂直に差し込み、引き抜いてください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。

## 電球（バルブ）を交換するときは

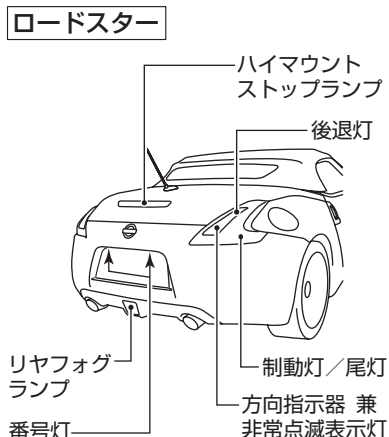
外装ランプが点灯しないときは、バルブ切れが考えられます。バルブを点検し、切れているときは交換してください。

- バルブの交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。

### ■外装ランプの位置



ZCE0607



ZCE0323

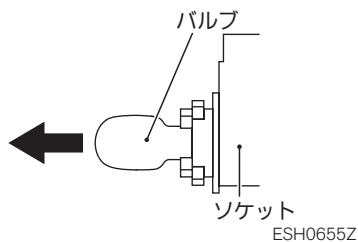
- 以下のバルブが点灯しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。
  - ・前照灯（キセノンヘッドランプ）
  - ・方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面）
  - ・制動灯／尾灯
  - ・ハイマウントストップランプ
  - ・LEDハイパーディライト

### ⚠ 警告

- キセノンヘッドランプは点灯時高電圧になります。感電防止のため、ランプの脱着、バルブの交換は絶対に行わないでください。

## ■バルブの外しかた

各バルブをソケットから外すときは、バルブを持ち、引き抜きます。

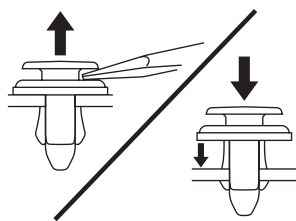


## ■クリップの脱着のしかた

バルブの交換作業をするときは、クリップを外し、内装などを脱着します。  
以下の方法で、各クリップを脱着してください。

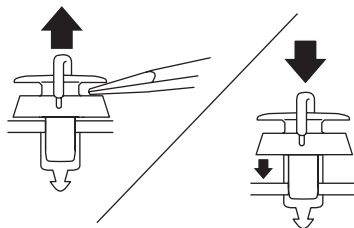
- 切り欠きにお手持ちの工具（マイナスイヤドライバーなど）を差し込み、ロックを解除してから引き抜きます。
- 取り付けるときは、ロックが解除された状態で取り付け、指でロックを押し込みます。

### クリップA



ESG0745Z

### クリップB



ZCE0240

### ■バルブ交換のしかた

- 交換をする前にバッテリーの⊖端子を外してください。
- 指定された容量のバルブ（QP.248）に交換してください。
- 交換したあとは、点灯することを確認してください。  
点灯しない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

#### ⚠ 注意

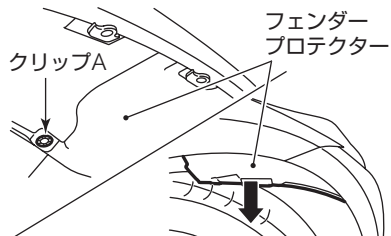
- バルブの交換は、エンジンルームやバルブが冷えた状態で行ってください。やけどをするおそれがあります。
- バルブ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
- ステーなどの端で指や腕をケガしないように十分注意してください。

#### 👉 アドバイス

- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- バルブに油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。バルブの寿命が短くなったりバルブが破損するおそれがあります。

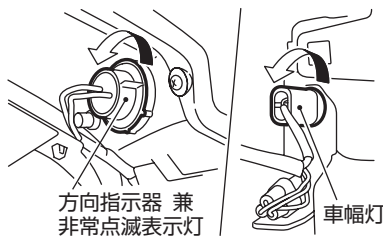
#### 車幅灯、方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）

- ①作業スペースを確保するために、作業する側にハンドルを切ります。
- ②フェンダー裏側のクリップAを外し、フェンダープロテクターをめくります。



ZCE0198

- ③交換したいバルブのソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。



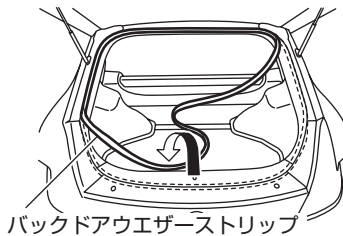
ZCE0199

- ④取り外したときと逆の手順で取り付けます。

## 方向指示器兼 非常点滅表示灯（後面）、後退灯

### クーペ

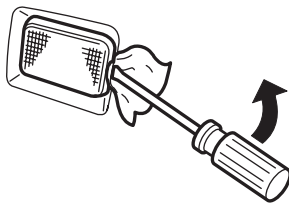
- ①バックドアを開けます。
- ②ラゲッジフロアカーペットとその下のカバーを取り出します。
- ③バックドアウエザーストリップを上へ引いて外します。



バックドアウエザーストリップ

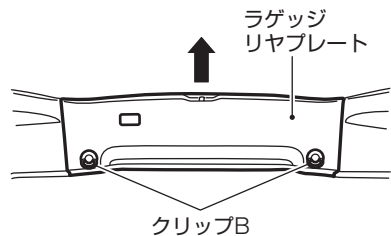
ZCE0200

- ④ラゲッジルームランプを外し、コネクターを外します。



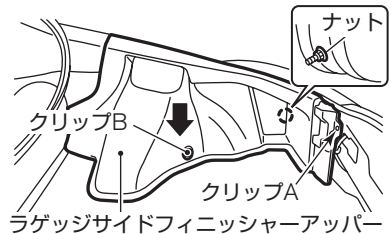
ZCE0229

- ⑤クリップBを外し、ラゲッジリヤプレートを外します。



ZCE0201

- ⑥クリップAとクリップBを外し、ラゲッジサイドフィニッシャーアッパーを外します。
- ⑦お手持ちの工具を使ってナットを外します。



ZCE0202

目次

警告

走行する前に

走行するとき

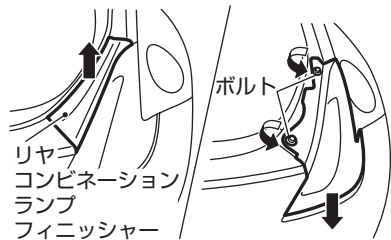
室内装備の  
使いかた車との上手な  
つきあいかた

万 one のとき

サービスデータ

さくいん

- ⑧ リヤコンビネーションランプフィニッシャーを上へ引いて外します。
- ⑨ ボルトを外し、リヤコンビネーションランプを車両後方に引いて外します。



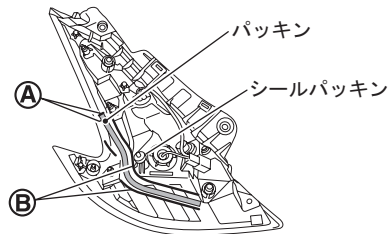
ZCE0348

- ⑩ 交換したいバルブのソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。



ZCE0204

- ⑪ リヤコンビネーションランプのパッキンとシールパッキンを新しいものに交換します。
- ・パッキンは、リヤコンビネーションランプ裏側のけがき線(A)にパッキンの先端を合わせ、けがき線(B)の範囲内に沿って貼り付けます。
  - ・シールパッキンは、イラストの位置に取り付けます。



ZCE0319

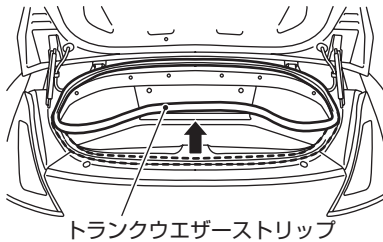
#### 🛠️ アドバイス

- パッキンとシールパッキンは再使用できません。リヤコンビネーションランプを取り外したときは、新しい部品と交換してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

- ⑫ 取り外したときと逆の手順で取り付けます。

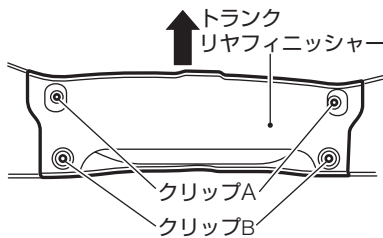
**ロードスター**

- ①トランクを開けます。
- ②トランクフロアカーペットとその下のカバーを取り出します。
- ③トランクウエザーストリップを上  
に引いて外します。



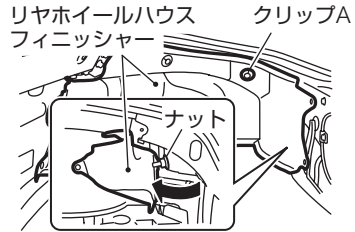
ZCE0318

- ④クリップAとクリップBを外し、ト  
ランクリヤフィニッシャーを外し  
ます。



ZCE0320

- ⑤クリップAを外し、リヤホイールハ  
ウスフィニッシャーの後端をめく  
ります。
- ⑥お手持ちの工具を使ってナットを  
外します。

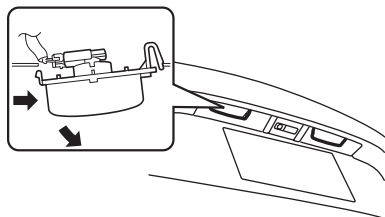


ZCE0321

- ⑦クーペの⑧～⑫ (OP.224) の作  
業を行います。

**番号灯**

- ①番号灯のレンズを右側に押しなが  
ら下に引き抜きます。



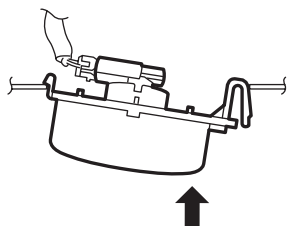
ZCE0208

- ②ソケットを反時計回りに回して引  
き抜き、バルブを交換します。



ZCE0193

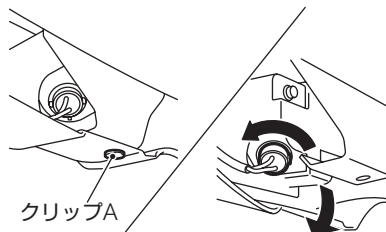
- ③取り外したときと逆の手順で取り  
付けます。  
④レンズ左側を差し込んでから右側  
を下から押し込み、レンズを取り  
付けます。



ZCE0194

**リヤフォグランプ**

- ①クリップAを外します。  
②リヤバンパーを下に引きながらソ  
ケットを反時計回りに回して引き  
抜き、バルブを交換します。



ZCE0205

**アドバイス**

- リヤバンパーを必要以上にめくらないで  
ください。変形するおそれがあります。

- ③取り外したときと逆の手順で取り  
付けます。

# 工具・ジャッキ・スペアタイヤについて★

## 格納場所

- 車種により格納されている装備品が異なります。

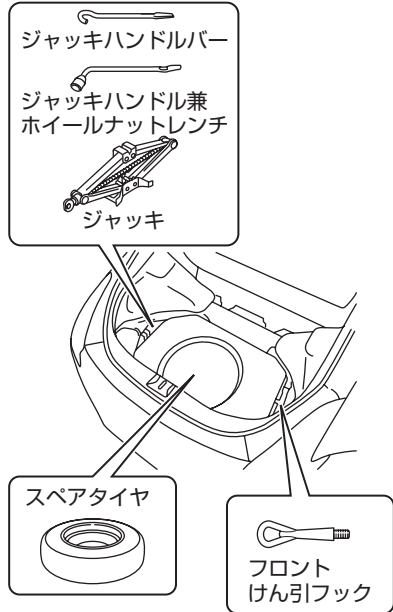
## ⚠ 注意

- 工具、ジャッキ、スペアタイヤを使ったあとは、元の場所に格納してください。車内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 📖 知識

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください
- 工具の種類やジャッキ、発炎筒（OP.210）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。
- 工具、ジャッキ、スペアタイヤ又はタイヤパンク応急処理キットは、ラゲッジルーム又はトランクに格納されています。

## スペアタイヤ付車



ZCE0218

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の  
使いかた

つ車  
きとの  
あの上  
いか手  
な

万  
一  
の  
と  
き

サー  
ビス  
デー  
タ

さ  
く  
い  
ん

### タイヤパンク応急修理キット付車



### 知識

- 修理剤ボトルには有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。
- 修理剤ボトルの有効期限は、ボトル上面のラベルに記載されています。  
(例：〇〇 / 〇〇〇〇 → 月/年)
- タイヤパンク応急修理キットは、指定の格納場所に保管してください。

📖 タイヤ応急修理のしかた…P.238

ZCE0349

## スペアタイヤについて\*

スペアタイヤは応急用タイヤを搭載してあります。  
タイヤがパンクしたときに、応急用として一時的に使うタイヤです。

### 注意

- スペアタイヤの空気圧はときどき点検してください。また、年に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。長期間放置すると空気圧が減り、万一のとき使用できないことがあります。

スペアタイヤの空気圧は420kPa (4.2kg/cm<sup>2</sup>) です。

- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5~7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社にご相談ください。
- スペアタイヤを取り付けたときは、タイヤ接地部のたわみを確認してください。たわみが大きいときは空気圧が不足しています。すみやかに空気圧を調整してください。

空気圧が不足したまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 間違った使いかたをすると、思わぬ事故につながるおそれがありますので、次のことをお守りください。

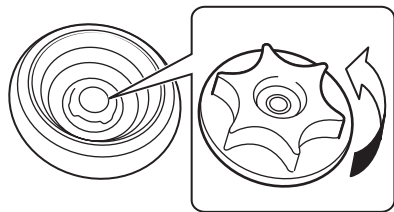
- ・ スペアタイヤ及びホイールはこの車専用です。他車のスペアタイヤを使ったり、他車に使わないでください。
- ・ スペアタイヤに交換したときは、100km/h以下で走行してください。
- ・ スペアタイヤには、タイヤチェーンは取り付けられません。
- ・ スペアタイヤに交換したときは、できるだけ早く標準タイヤに戻してください。

### アドバイス

- スペアタイヤに交換すると、車高が少し低くなります。地面の突起物などを乗り越えるときは、車体が接触しないように注意してください。

## ■スペアタイヤの取り出しかた

- ①ラゲッジフロアカーペットとその下のカバーを取り出します。  
(カバーは、前側を持ち上げながら左側に寄せ、右端から取り出します。)
  - ②タイヤを固定しているクランプをゆるめてタイヤを取り出します。
- BOSEサウンドシステム付車は、ウーファーとタイヤを固定しているクランプを外し、ウーファーをラゲッジルーム前側に立てかけて、スペアタイヤを取り出します。



ZCE0054

- スペアタイヤを格納するときは、取り出したときと逆の手順で行ってください。

### 🔧 アドバイス

- スペアタイヤはクランプでしっかりと固定してください。ゆるんでいると、走行の妨げになります。
- BOSEサウンドシステム付車は、タイヤを取り出すとき、ウーファーのハーネスに引っ掛からないように気をつけてください。ウーファーが落下し、破損するおそれがあります。

## ジャッキアップのしかた★

車種により、ジャッキとジャッキハンドルバーは標準で搭載されていません。

ジャッキアップする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。

ご購入については、日産販売会社にご相談ください。

### ⚠ 警告

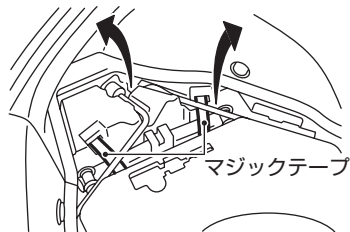
- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らないでください。ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。
- ジャッキアップ中は、エンジンを始動しないでください。車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

**注意**

- ジャッキを使うときは、次のことを必ず守ってください。
  - ・ ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、この車両専用のジャッキは他車に使わないでください。
  - ・ ジャッキはタイヤ交換又はタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
  - ・ 平坦で硬いところに駐車して作業してください。
  - ・ 使用前にパーキングブレーキをかけ、オートマチック車はセレクトレバーをPに、マニュアル車はシフトレバーをRにしてください。
  - ・ 輪止めなどで車を固定してください。
  - ・ ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
  - ・ 人や荷物は必ず車から降ろしてください。

**■ジャッキの取り出しかた**

- ① ラゲッジフロアカーペットとその下のカバーを取り出します。(カバーは、前側を持ち上げながら左側に寄せ、右端から取り出します。)
- ② ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを取り出します。
- ③ マジックテープを外して取り出します。

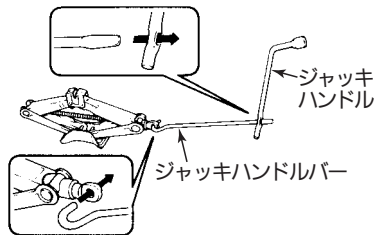


ZCE0220

**■ジャッキハンドルのセットのしかた**

- ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。

○格納場所…P.227



TSA0795Z

**アドバイス**

- ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込んでください。

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の

つ車とあの上かたな

万のとき

サービスデータ

さくいん

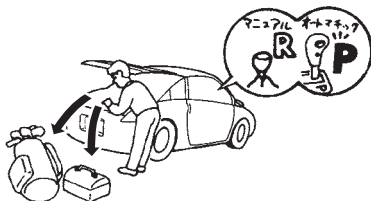
## ■ジャッキアップのしかた

交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。

### ⚠ 注意

- やわらかい地面の上では行わないでください。ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。

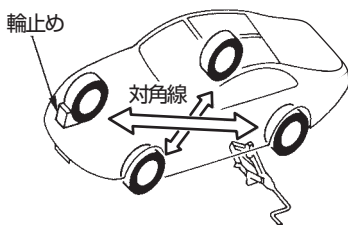
- ① パーキングブレーキをかけ、オートマチック車はセレクトレバーを **P** にし、エンジンを止めます。マニュアル車はエンジンを止めてからシフトレバーを **R** にします。



ZCE0221

- ② ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。

- 輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。



ZCE0230

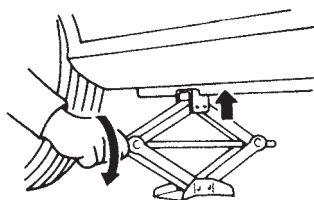
### ⚠ 注意

- やむを得ず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにしてください。

### 📖 知識

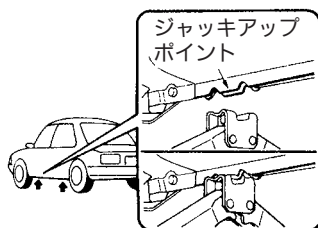
- 輪止めは標準で搭載されていないので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

- ③ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイントの中央に入るまで上げます。



TCA0172Z

ジャッキアップポイント

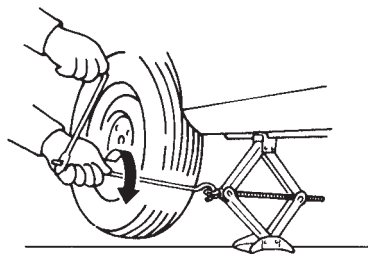


TSC1433Z

アドバイス

- ジャッキアップポイント以外の所にはジャッキをかけないでください。車体に変形するおそれがあります。

- ④ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



TCA0174Z

注意

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

# パンクしたときは

パンクしたときの応急処置として、スペアタイヤ付車はタイヤをスペアタイヤに交換します。タイヤパンク応急修理キット付車はパンクしたタイヤを応急修理してください。

○タイヤ応急修理のしかた…P.238

## タイヤ交換のしかた★

### ⚠ 注意

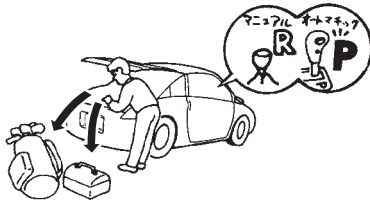
- タイヤ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。走行直後はホイールナットが熱いため、やけどやケガをするおそれがあります。

①交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車します。

- 人や荷物を降ろします。
- 必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。
- 工具、ジャッキやスペアタイヤを取り出します。

○ジャッキアップのしかた…P.230

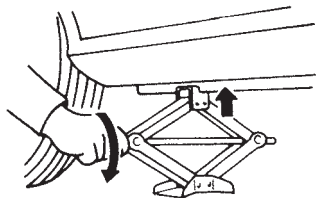
○スペアタイヤの取り出ししかた…P.230



ZCE0221

②ジャッキをセットします。

- ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイント（○P.233）の中央に入るまで上げます。
- スペアタイヤをジャッキ近くの車体の下に置きます。

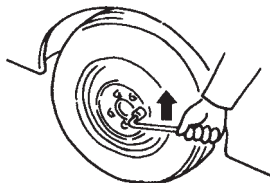


TCA0172Z

### 👉 アドバイス

- スペアタイヤを置くときは、ラベル貼付側を上にご覧ください。

③ホイールナットレンチで、全てのナットを反時計回りに約1回転ゆるめます。

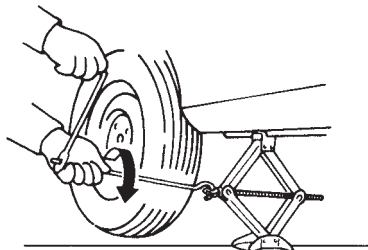


TCA0555Z

### 👉 アドバイス

- タイヤを接地状態にして行います。

- ④ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。

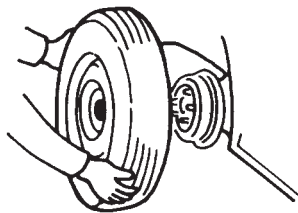


TCA0174Z

### 注意

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをすることがあります。

- ⑤ナットを外し、パンクしたタイヤを外して車体の下に置きます。



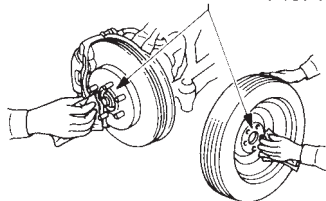
TSA1464Z

### アドバイス

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。

- ⑥ハブの取付面とホイール裏側の取付面を布でよくふき、スペアタイヤを取り付けます。

ホイールとハブの取付面



TCE0093Z

### 注意

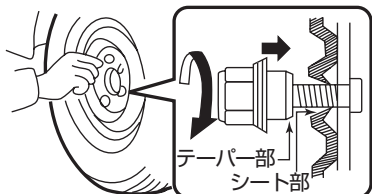
- 取付面が汚れていると、走行中にナットがゆるみタイヤが外れるおそれがあります。
- 応急用タイヤは、ラベル貼付側が外側になるように取り付けてください。逆に付けると他の部品と当たり、思わぬ故障につながるおそれがあります。

### 知識

- 前輪にスペアタイヤを取り付けるときは、前輪ブレーキローター部の誤組み付け防止ピン位置に合わせて取り付けてください。

⑦ナットを取り付けます。

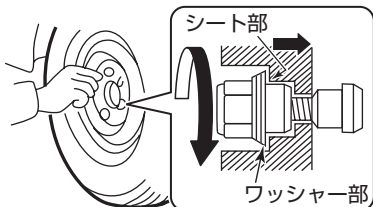
- ・ナットのテーパ部が、ホイール穴のシート部に軽く当たるくらいまで、時計回りに回して締め付けます。



ZCE0231

### スペアタイヤからアルミホイールに交換するとき

- ナットの本ワッシャー部がホイール穴のシート部に軽く当たるくらいまで、時計回りに回して締め付けます。

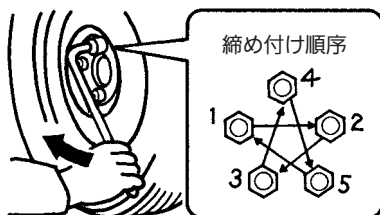


ZCE0232

### 警告

- 工場出荷時に装着される本車両専用のアルミホイールには、必ず左記イラストの専用平座ナットを使用してください。また、ナットを取り付けるときは、ナットやボルトにオイルやグリスなどを塗らないでください。走行中にナットがゆるみ、タイヤが外れるおそれがあります。

⑧ナットを、図の順序で2～3回に分けて締め付けます。

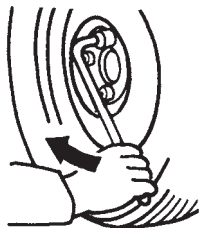


TCA0556Z

## ⑨ ジャッキを下げます。

さらにナットを⑧の締め付け順序で十分に締め付けます。

- ホイールナット締め付けトルク  
108N・m (11kg・m)



TCA0181Z

### ⚠ 注意

- ジャッキを下げるときは、ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを両手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

### 🛠 アドバイス

- ホイールナットレンチを足で踏んで回したり、パイプなどを使って必要以上に締め付けしないでください。ボルトが折れるおそれがあります。

### ⑩ パンクしたタイヤや使用した工具、ジャッキなどをラゲッジルームに格納します。

### ⚠ 注意

- タイヤを取り付けてしばらく走行したあと、ナットのゆるみや車体の振動などの異常がないか確認してください。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の  
使いかたつ車と  
あの上  
いかな  
手な万  
一  
の  
と  
きサー  
ビス  
テ  
ー  
タさ  
く  
い  
ん

## タイヤ応急修理のしかた★

タイヤトレッド部（接地面）に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクは、タイヤパンク応急修理キットで応急修理できます。

しかし本キットは応急修理を目的としているため、修理後はすみやかに日産販売会社又は専門の修理業者で点検、恒久修理を行ってください。

☑タイヤパンク応急修理キットの格納場所…P.228

次の場合、応急修理はできませんので、日産販売会社又はJAFなどに連絡してください。

- ・修理剤の有効期限が切れている場合
- ・約6mm以上の切り傷や刺し傷がある場合
- ・タイヤサイド部が損傷を受けた場合
- ・ほとんど空気の抜けた状態で走行した場合
- ・タイヤがリムの外側、又は内側へ完全に外れている場合
- ・リムが破損している場合
- ・タイヤが2本以上パンクしている場合

## ⚠ 注意

### 修理キットについて

- 応急修理キットは、搭載車両専用です。他の車には使用しないでください。
- 応急修理キットは自動車用タイヤの空気充填や空気圧チェック以外で使用しないでください。
- 応急修理キットはDC12V専用です。他の電源での使用はできません。
- 水やほこりを避けて使用してください。
- 分解、改造などは絶対にしないでください。
- コンプレッサーに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- お子さまが誤って手を触れないように注意してください。

### 修理剤について

- 飲むと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。
- 万一目や皮膚に付着した場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。

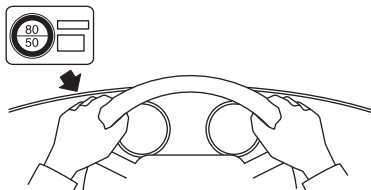
## ■ 応急修理のしかた

### 🚗 アドバイス

- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜かずにそのまま修理してください。

タイヤパンク応急修理キットを取り出すときは、ラゲッジルーム又はトランクのフロアカーペットとその下のカバーを取り出します。(クーペは、カバーの前側を持ち上げながら左側に寄せ、右端から取り出します。)

- ① コンプレッサーのカバーを開け、中にある速度制限シールをはがし、運転者のよく見えるところに貼ります。

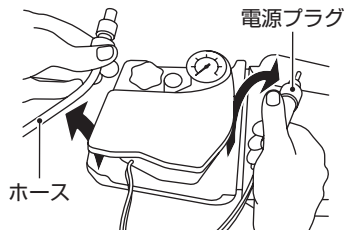


ZCE0342

### ⚠️ 注意

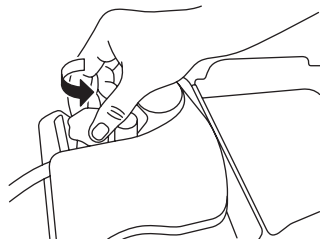
- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

- ② コンプレッサーからホースと電源プラグを取り出します。



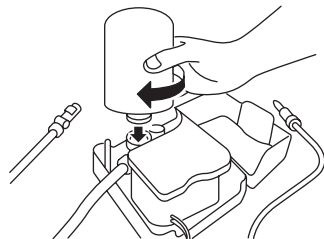
ZCE0343

- ③ コンプレッサーから、ボトルホルダーのキャップを外します。



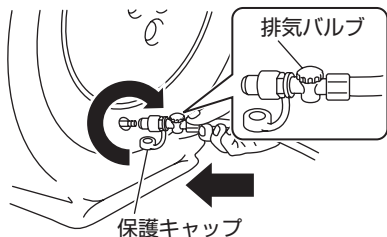
ZCE0344

- ④ 修理剤ボトルのキャップを外し、内ぶたをつけたままボトルホルダーに取り付けます。(ボトルホルダーにねじ込むと内ぶたが破れます。)



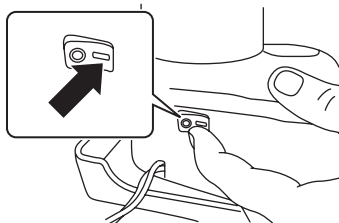
ZCE0345

- ⑤パンクしたタイヤのバルブからキャップを外します。
- ⑥ホース先端の保護キャップを外し、ホース（排気バルブが閉まっていることを確認してください）をパンクしたタイヤのバルブに確実にねじ込みます。



ZCE0346

- ⑦コンプレッサーのスイッチがOFF（「○」の位置）にあることを確認し、電源プラグを車内の電源ソケットに差し込みます。
- ⑧電源ポジションをAccにしてコンプレッサーのスイッチをON（「-」の位置）にし、タイヤを指定空気圧又は180kPa以上まで昇圧させます。
- この際、実際の空気圧が測れるようにコンプレッサーを一時停止して圧力計で測定してください。空気圧が高すぎる場合は、排気バルブを反時計回りに回して、空気を抜いてください。



ZCE0347

### ⚠ 注意

- ホースとタイヤの接続が不十分な場合、空気が漏れたり、修理剤が飛び散るおそれがあります。
- 破裂の危険があるので応急修理キット作動中は補修中のタイヤから離れてください。タイヤに亀裂や変形が発生している場合、ただちにコンプレッサーのスイッチを切り、修理を中止してください。
- バルブを介して修理剤を注入するため、圧力が600kPaに達することがありますが、異常ではありません。通常は、30秒ほどで下がります。

※タイヤの空気圧は運転席ドア開口部に表示、及び巻末のサービスデータに記載してあります。

### 🚗 アドバイス

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。

## 10分以内に180kPaまで昇圧できない場合

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。

この場合は、本修理キットで応急修理することができません。日産販売会社又はJAFなどに連絡してください。

●JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

- ⑨指定空気圧又は180kPa以上まで昇圧できたら、コンプレッサーのスイッチを切り、電源プラグを電源ソケットから抜きます。ホースをバルブからすばやく取り外し、ホースに保護キャップを取り付け、バルブにキャップを取り付けます。

### 🚗 アドバイス

- ボトル内に残った液剤がこぼれないように、ボトルはボトルホルダーにつけたままにしておいてください。

- ⑩修理剤をタイヤ内に広げるため、10分間又は3km程度走行してください。80km/h以下の速度で注意深く運転してください。

### ⚠️ 注意

- 空気を入れたあとは、ホースの口金が発熱することがあります。やけどしないように注意してください。
- 走行するときは、低速で慎重に運転してください。特にカーブや旋回時には注意してください。

- ⑪走行後、再度コンプレッサーのスイッチがOFF（「○」の位置）にあることを確認し、コンプレッサーのホースをタイヤのバルブに取り付け、コンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックしてください。指定空気圧より低下していたら、再度指定空気圧まで昇圧してください。

### ⚠️ 注意

- 空気圧が130kPa以下に低下したり、⑦～⑩の作業を繰り返しても空気圧が低下したりする場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社又はJAFなどのロードサービスに連絡してください。
- JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

- ⑫ 空気圧が低下していなければ、応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社又は専門の修理業者まで慎重に運転してください。

#### アドバイス

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社又は修理業者で点検を受けてください。

#### 知識

- 修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。  
修理・再使用される場合は、専門の修理業者と相談してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、バルブは新しいものと取り替えてください。
- 修理剤とホースは再使用できません。  
使用後は新しい修理剤とホースをお求めください。  
詳しくは日産販売会社にご相談ください。

# 事故がおきたときは

あわてずに次の処置をしてください。

## 1 続発事故の防止

他の交通の妨げにならないような安全な場所に車を移動させ、エンジンを止めます。

## 2 負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師・救急車が到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

## 3 警察への届け出

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを連絡します。

## 4 相手方の確認とメモ

相手方の氏名、住所、電話番号などを確認してメモします。  
同時に事故状況もメモしておいてください。

## 5 販売会社と保険会社への連絡

ご購入された販売会社と加入の保険会社へ連絡をします。

目次

△  
警告

走行する前に

走行するとき

使室内  
装備の  
いかたつ車と  
あの上  
か手な万  
一  
の  
と  
きサー  
ビス  
デー  
タさ  
く  
い  
ん

